

発行：平成 30 年 3 月

発行者：岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 親と子どもの発達センター

### 「飛び出し注意」の子どもと大人の安全管理について

親と子どもの発達センター センター員 小野 隆



子どもは、前を見ていないですよ。道を横断するときは、逆に、全くと言って良いほどに左右を見ていないです。それは自転車に乗れるようになってからも、同じことになります。特に幼児の頃からの自転車は要注意で、安全管理を徹底する必要があります。いくら飛び出してはいけないと言っても聞かせても、理解しているのはその時だけで、その場になると完全に忘れてしまうのです。そういう意味では、子どもを信じてはいけません。親として自分の子どもを信じてあげたい気持ちがあるのも当たり前だと思います。しかし、認知・非認知の両面からその力の発達が正常でも、年齢的にはまだ追いついていないのです。

私の次男は5歳の年長さんの時に、住宅街の中にある小学校のグラウンドで遊んだ帰りに、自宅から50mの場所で、自転車で軽自動車に轢かれました。一緒に遊んでいた7歳の小学2年生の長男の目前での出来事でした。その小学校の保護者面談に来た同級生の女の子の母親が運転している車の前に飛び出してぶつかり、10m以上宙を舞って道路に頭を打ったのですが、乗っていた自転車がタイヤの下に挟まったことから自然に急ブレーキとなり、幸いなことにあと残り50cmのところで、更に車に轢かれることにはならなかったようです。不幸中の幸いとはいえ、運転者は全くブレーキをかけていなかったとのことでした。つまり、次男はそれくらい直前で飛び出したという意味で、運転者も住宅街の中の小学校周辺での運転時には、「飛び出し注意」の危険予知の防衛運転をすることが大切でしたね。

次男は、数分後には意識を取り戻して痛さに大泣きし、救急車で病院に運ばれましたが、診断の結果は、硬膜外血腫に軽い頭蓋骨骨折と小さな2ヶ所の脳挫傷でした。脳の可塑性が小さな子どもにはあるので、数ヶ月は軽い言語障害がありましたが、その後は特に後遺症はなくなっていると思います。実は、それまでよくしゃべる子が、あまり話さなくなってしまったので、もしかしたらそれを後遺症ということができるかもしれないですが・・・

次男は今、大学2年生になり自宅を出て一人暮らしを始め、某国立大学工学部電気電子工学科で頑張っています。もしかしたら次男は、あの時に命を落としていたかもしれないと考えます。子どもの安全管理の重要性について、皆さんにも是非とも、しっかりはつきりと自分たちのこととして認識して頂きたいと思います。具体的には、大人は「防衛運転」に徹し、子どもが自転車に乗る時は「ヘルメット着用」を徹底して下さい。

### みんなで子育て

平成 29 年度に開催しました学生ゼミ企画の様子をご紹介します

第1回 5月10日(水)  
小野ゼミ企画  
『親子でいろいろな虫を  
まねっこしよう!』



第2回 5月17日(水)  
赤羽根ゼミ企画  
『どうぶつランドに  
ようこそ!』

第3回 5月31日(水)  
佐善ゼミ企画  
『ベジベジ  
スタンプあそび』



第4回 6月7日(水)  
岸本ゼミ企画  
『雨の日の生き物になっ  
て、体をうごかさう』

第5回 6月21日(水)  
渡部ゼミ企画  
『親子でふれあい遊び  
バスでいくZOO!』



第6回 6月28日(水)  
野田ゼミ企画  
『ワクワク  
表現あそび!』

第7回 7月5日(水)  
山田(悠)ゼミ企画  
『お姉さんといっしょ  
～リズムにのって  
楽しもう～』



第8回 7月19日(水)  
滝沢ゼミ企画  
『ぐりとぐらと森の仲間  
たち 親子で遊ぶ音楽劇』

第9回 7月26日(水)  
横田ゼミ企画  
『作ってあそぼう!  
～親子で造形あそび～』



第10回 10月11日(水)  
小原ゼミ企画  
『親子で対決  
新聞じゃんけん』

第11回 10月30日(水)  
舞台表現と技術岡本授業3年生  
『えほんを体感！  
おやこであそぼ♪』



第13回 11月15日(水)  
平尾ゼミ企画  
『リズムや音を  
楽しもう！』



第15回 11月29日(水)  
渡部ゼミ企画  
『おやこでつくって  
あそぼっ！』



第17回 1月10日(水)  
北浦ゼミ企画  
『音楽とあそぼ！』



第19回 1月31日(水)  
赤羽根ゼミ企画  
『おにたいじに行こう！』



第12回 11月1日(水)  
鈴木(穂)ゼミ企画  
『親子でえほんを楽しもう  
-秋ってなあに 冬ってなあに-』



第14回 11月22日(水)  
丸山ゼミ企画  
『見て楽しい!作って楽  
しい!みんなで踊ろう!』



第16回 12月20日(水)  
野田ゼミ企画  
『おはなしでてこい!!』



第18回 1月24日(水)  
横田ゼミ企画  
『初めてのものにたくさん  
触れてみよう!』



## 子育て実践講座

子育て実践講座をご紹介します

第2、3、5回講座は、有志の学生とセンタースタッフによる託児も行いました。

第1回 7月12日(水)  
『えほんのじかん  
—親子で絵本を楽しむには—』  
本学教員：鈴木 穂波先生&鈴木ゼミ生

第2回 8月23日(水)  
『怒らないでもしつけられる  
子育て術』  
講師：吉田 三佳子氏

第3回 9月21日(木)  
『子どもの偏食、  
味覚の発達について』  
本学非常勤講師：熊崎 稔子先生

第4回 12月6日(水)  
『赤ちゃんもママも幸せ ベビー  
マッサージとふれあい遊び』  
講師：鈴木 淳子氏

第5回 2月14日(水)  
『乳幼児期の教育と  
よい園の見分け方』  
本学教員：矢藤 誠慈郎先生

第6回 3月14日(水)  
『愛情は皮膚から入る～実践編～  
親子でスキンシップ遊び』  
講師：石川 有加氏

## 親と子どもの発達センター セミナー

9月9日(土)14:00~16:30



### 『杉山三四郎 絵本ライブ

絵本読み聞かせの極意を伝授します

講師：杉山 三四郎氏

「おおきな木」店主 杉山三四郎氏をお招きし、絵本ライブを楽しみながら、子どもが喜ぶ絵本の読み聞かせの方法やうた遊びなど、保育の現場等で子どもたちと関わっている先生方と共に学びを深めました。学生ボランティアスタッフが、受付や駐車場案内なども行いました。

### ほめられること大好き!

子どもが望んでいることは、「見てもらうこと」です。よい結果や大きな変化が見られた時だけほめるのではなく、日頃のこと、あたりまえと思わず、「みているよ」「できたね」「終わったのね」その時その時に声をかけてあげましょう。子どもと一緒に喜びを分かち合ったり、「うれしいよ」「ありがとう」「助かったよ」など親の気持ちを伝えたりすることは、認められたという経験になり、次の行動への意欲につながります。

ほめている時のお母さんの顔は、子どもが一番好きな「おかお」です。 後記：親と子どもの発達センタースタッフ 竹内

